

科目名	簿記Ⅱ	科目分類	■専門科目群 □総合科目群	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Book keeping Ⅱ	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
ふりがな	ひろせ たいゆう	実務家教員 担当科目		修得単位 2単位
担当者名	広瀬 大有	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	日商簿記検定試験2級・商業簿記			
到達目標	受験チャンス3回で「合格」を目指す!			
授業概要	簿記Ⅰ講義の継続である。			
授業計画				
第1回	第12草 リース会計 ①ファイナンス・リース取引 その1 利子込み法			
第2回	第12草 リース会計 ②ファイナンス・リース取引 その2 利子抜き法(定額法)			
第3回	第12草 リース会計 ③オペレーティング・リース取引			
第4回	第13草 外貨建取引 ①決算及び決済取引の処理			
第5回	第13草 外貨建取引 ②為替予約			
第6回	第13草 外貨建取引 ③外貨建金銭債権・債務等の換算			
第7回	第16草 連結会計 ①一般原則・一般基準			
第8回	第16草 連結会計 ②資本連結			
第9回	第16草 連結会計 ③非支配株主持分			
第10回	第16草 連結会計 ④のれん・負ののれん			
第11回	第16草 連結会計 ⑤連結会社間取引の処理			
第12回	第16草 連結会計 ⑥未実現損益の消去			
第13回	第16草 連結会計 ⑦連結精算表の作成 その1			
第14回	第16草 連結会計 ⑧連結精算表の作成 その2			
第15回	第16草 連結会計 ⑨連結精算表の作成 その3			
第16回	定期試験			
授業時間外の 学習	「75～92.5時間」(講義外) 勉強に励むことが、「合否分岐点」となることを銘記せよ。			
履修条件 受講のルール	簿記は取引を仕訳、勘定記入、表の作成など「繰り返し体得すること」が大切だ。			
テキスト	渡部裕亘・片山寛・北村敬子 編著『検定簿記講義 2級商業簿記』(2022年度版)			
参考文献・資料	渡部裕亘・片山寛・北村敬子 編著『検定簿記ワークブック 2級商業簿記』(2022年度版)			
成績評価の方法	総合評価方式 ① テスト 70% ② 課題提出 30% ※出席回数が規定に満たない場合、授業料その他納入金未納の場合は試験を受けることができません。			
オフィスアワー	① 毎週火曜日 14:40～16:10 ② 水曜日 13:00～14:30			
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)			

実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	平成 28～30 年度の 3 年間で、2 級出題区分は大幅な見直しを行った。 これに伴い、より会計事務に即した実践的な出題内容となった。 合格率も 25%前後と厳しい。従って 2 級合格者に対する社会的評価は一層高まる！